

普通会計の歳入歳出決算の状況

平成30年度の普通会計決算は、歳入総額が72億7,636万円で、前年度と比較して1億7,871万円（2.5%）の増額、歳出総額は68億4,511万円で、前年度と比較して1億8,175万円（2.7%）の増額となりました。

歳入における地方税の総額は4億5,457万円で、法人町民税、固定資産税、たばこ税の減収などがあり、前年度と比較して702万円（△1.5%）の減額。また、歳入総額の4割強を占める地方交付税の総額は29億9,450万円となり、前年度と比較して3,277万円（△1.1%）の減額となり、3年続けての減額となりました。

一方歳出では、昨年から引き続き行っているデジタル防災行政無線への転換整備、日南町体育館改築に加え、福栄地域振興センターの新築、日南町林業アカデミーの建設等を行いました。また、ソフト事業においては、婚活セミナーやイベントの開催などの新たな結婚対策事業を実施しました。平成30年度は7月豪雨及び台風24号災害が発生した年であり、いずれの災害も激甚災害指定とされ人災こそなかったものの、町民資産をはじめ公共土木施設及び農林業施設等に甚大な被害をもたらし、決算額は前年度に比べて3億3,247万円（1,293.4%）と最も大幅な増額となりました。

人口減少社会の中で地方交付税などの減少は避けられませんが、今後も限られたお金を大切に計画的にやりくりしながら日南町が持続的に発展していくために必要な施策を実施しなければなりません。「ここに住んで良かった」「このまちで暮らしたい」と思っただけのように今後も選択と集中による行政サービスを行います。

日南町の財政を、一般家庭に例えてみると

皆さんに身近に感じてもらうため、今年も普通会計決算を一般家庭の家計簿に置き換えてみました。



町民1人あたりでみる支出の状況

※（ ）内は平成29年度の数値です

町のお金の使いみち 町民1人あたりの支出額は？

町民1人あたりの町税額 (人口は平成31年3月31日現在の数字)

(国保税等特別会計分を除く) 454,573,000円
約99,317円 = 4,577人
(98,274円)

町民1人あたりの支出額 6,845,109,000円
約1,418,642円 = 4,577人
(1,418,641円)

議会費15,482円

DOWN 23.8% (20,316円)

- 定例会、臨時会等の開催
- 各種研修
- 議員報酬 など

総務費176,677円

UP 10.7% (159,537円)

- 税、戸籍業務・交通安全対策
- 地域防犯対策・広報紙発行
- 町有財産整備管理など

民生費234,407円

DOWN 3.4% (242,774円)

- 子育て支援施策
- 障がい者支援サービス
- 保育園の運営・医療費の助成
- 児童手当等の支給など

衛生費166,012円

UP 54.2% (362,773円)

- 西部広域行政管理組合委託費(ゴミ処理)
- 各種検診の実施
- 環境対策事業など

農林水産業費295,702円

UP 14.9% (257,375円)

- 認定農家の育成
- 農業生産者の支援
- 農地の管理
- 鳥獣被害対策
- 森林環境保全事業 など

労働費0円

0% (0円)

- 緊急雇用創出に要した経費

公債費127,297円

DOWN 3.2% (131,449円)

- 町が借りましたお金の返済に充てられます。将来に渡って返済していきます。

教育費211,662円

UP 147.2% (85,630円)

- 小中学校の運営
- 生涯教育の推進
- 図書館・美術館の運営
- 各種スポーツ大会の開催など

土木費109,426円

UP 0.3% (109,134円)

- 町道整備・除雪対策
- 町営住宅の管理など

災害復旧費79,878円

UP 686.4% (10,157円)

- 自然災害等による道路・河川等の被害の復旧など

消防費65,474円

UP 107.6% (31,532円)

- 西部広域消防運営経費
- 消防団の運営
- 自主防災組織育成など

商工費13,528円

UP 69.9% (7,964円)

- 観光協会、商工会の活動助成
- 企業支援
- 消費者保護施策など